



2008年2月13日

各 位

上場会社名 株式会社ゼンテック・テクノロジー・ジャパン  
代表者名 取締役社長 大谷 省三  
(コード 4296 大証ニッポンニューマーケットヘラクレス市場、スタンダード)  
問合せ先 責任者役職名 営業推進統括部 部長  
氏 名 星 光行  
(TEL 03-5298-8100)

## ゼンテック、米国デジタルケーブルでサービスが開始されるtru2way に対応したソリューションの販売を開始

株式会社ゼンテック・テクノロジー・ジャパン(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：大谷省三、以下、「ゼンテック」)は、2008年末から米国ケーブルTVで本格的なサービス開始されるtru2way™ソリューションを2月15日から受信機セットメーカーに対して販売を開始すると発表しました。

tru2wayについて、米国最大のケーブルオペレータであるComcastの会長兼CEO(Brian Roberts氏)が、2008年1月7日にCESの基調講演で、2008年末からサービスを開始すると発表しました。このことにより、他のケーブルオペレータも追従するものと思われ、tru2way対応の受信機のニーズが急速に高まることが予想されます。

Comcast の発表と同時に、米国CableLabs®も、全米のCATV業界が次世代の対話型サービスのプラットフォームを”tru2way”に統一したことを発表しました。tru2wayは、米国CableLabs®が定めた次世代双方向TVアプリケーションの新しいブランド名で、双方の対話型のサービスであることが直感的に分かるようにと、従来のOCAPから名称を変更したものです。

OCAP(OpenCable® Application Platform)は、GEM規格をベースに策定された次世代の双方向TVアプリケーションの名称で、すでに米国CableLabs®で規格化され実証実験やトライアルが行われていました。

この動きに合わせて、ゼンテックも、OCAP の実行環境をサポートするソフトウェア・ソリューションである MediaStack-OCAP を MediaStack-tru2way に変更し、同時に受信機セットメーカーへtru2way ソリューションの販売を開始しました。

ゼンテックの MediaStack-tru2way は、北米向け DTV ソリューションに必要な、PSIP、クローズドキャプション(EIA-708B)、双方向 CableCARD,と DTV ミドルウェア・ライブラリを統合したソリューションを提供し、短期間で tru2way 対応の受信機の開発を可能にします。またこのソリューションは、tru2way の機能を組み込んだデジタル TV として、あるいは既存の TV に接続するため STB、DVR など、様々なプラットフォームに移植することができます。

さらに、ゼンテックでは米国の Zentek Lab に双方対応のヘッドエンド(ケーブル TV の信号送出装置)を保有し、tru2way に対応したストリームの送出やテストがいつでもできるようになっています。



ゼンテックの DTV ソフトウェアの総称である MediaStack シリーズの北米向けは、tru2way を含む全ての北米 DTV ソフトウェア・ソリューションのライセンスに柔軟に対応しており、ソースコードでの提供も可能となっているため、既存の DTV アプリケーションとのインテグレーションを可能にします。

ゼンテック・テクノロジー・グループ CEO 大谷省三は「ゼンテックはデジタル STB やテレビメーカーに対して、tru2way の開発リスクを軽減するために、統合されたリファレンス・ソリューションの開発を行ってきました。MediaStack-tru2way とゼンテックの ATSC, CableCARD、ミドルウェア・ライブラリは、受信機セットメーカーが企画する米国 DTV マーケット向け製品のソリューションソフトウェアを提供し、短期間での製品の市場投入を約束します。」と語っています。

さらに、FCC(米国連邦通信委員会)は、ケーブル TV 事業者 に対して、サービスの提供とハードウェア(STB)の提供の切り離しを求める政策の一環として、2007 年 7 月以降、ケーブルオペレータが、CAS 機能(限定受信機能)を搭載した STB などのケーブル TV 用受信機を供給することを禁止する命令を出しました。これにより市場が完全にオープンとなり、新たな STB、TV メーカーのこの分野への進出が期待できます。

#### 株式会社ゼンテック・テクノロジー・ジャパンについて

1997 年に創業者である社長大谷省三により、世界のソフトウェア技術の頂点にある米国シリコンバレーに設立されたゼンテック・テクノロジー・インク(現在は連結子会社)を母体とし、2000 年 2 月に本邦に設立されました。既にDVB-MHP、tru2wayなどのデジタルTVおよびSTB向け世界各国の標準規格「MediaStack™シリーズ」や、Java搭載携帯電話向けの統合開発環境「JADE™シリーズ」、携帯電話等の組み込み機器上で動くJavaベースのウェブブラウザ、デジタル家電向けビジュアル・オーサリングツールの「Zentek MediaMaster™」などを提供しており、デジタル情報家電分野での高度な専門知識を活用し、最先端ソフトウェアの開発・サポート・ライセンス、およびデジタル家電・携帯電話事業に必要なQA(Quality Assurance: 品質保証)事業等の画期的な情報家電技術ソリューションを包括的に、日・米・シンガポールの拠点より世界に向けて提供し、ユビキタス社会の実現に貢献する事を使命としております。

さらに詳しい情報につきましては、<http://www.zentek.co.jp/>をご参照ください。

- 記載された社名および製品名は各社の登録商標もしくは商標です。

#### 用語解説

##### tru2way(OCAP) :

CableLabs®が双方向アプリケーションを実現するため定めた標準仕様。GEM規格(DVB-MHP)をベースにしています。CableLabs®が定めた規格ですが、米国地上デジタル放送(ATSC)でも、tru2wayの仕様を取り入れ、ACAP(Advanced Common application Platform)を策定しました。

##### CableLabs® :



正式名は、Cable Television Laboratories, Inc.ケーブルテレビのビジネスの発展と規格統一や技術支援を目的に、米国ケーブルテレビ事業関係者によって設立された非営利研究開発機関です。

**OpenCable® :**

CableLabs®がケーブルテレビのネットワーク・インターフェースを標準化し、様々なメーカーがケーブルテレビに対応した受信機(STBやTV)を開発して販売できることを目的に作られたプロジェクトで、現在は、プロジェクトの名称が規格の名前となっています。

従来は、ケーブルオペレータごとに専用の STB が必要でしたが、各ケーブルオペレータが発行する CableCARD と呼ばれる PC カードを装着することで、同じ受信機で CableCARD を交換するだけで複数のオペレータに対応することができるようになりました。このことにより、ユーザは一般の小売店から STB などの受信機を購入することができることとなります。

**CableCARD:**

PC カードタイプ II のカードで、各ケーブルオペレータに対応するための CA(Conditional Access)の認証に用いられています。CableCARD に対応した受信機は、出荷前に米国 CableLabs®の非常に厳しい認証テストをパスしなければなりません。当社の開発した受信機は、このテストにパスしています。

**EIA-708B:**

米国における Digital Television Closed Captioning (DTVCC)の標準規格です。従来の CC(Closed Caption)に対して、アウトラインフォントで見やすくし、フォント、表示色設定が可能になりました。EIA-708B は、FCC の勧告により、2002 年 7 月以降に米国で販売されるデジタル TV に搭載の義務化がされています。当社の EIA-708B ソリューションは、すでに米国向けの STB に搭載され製品として出荷されています。

**PSIP(Program and System Information Protocol):**

米国地上デジタル放送(ATSC)で定められている標準規格のひとつで、放送波といっしょに送られてくる番組に関する様々な情報を定義しています。番組情報としては、EPG(電子番組表)や物理チャンネルと仮想チャンネルのマッピング情報などを含んでいます。

**MHP(Multimedia Home Platform) :**

ヨーロッパのデジタル TV 標準化団体である DVB(Digital Video Broadcasting)が定めた次世代双方向デジタル TV 放送の規格です。Java ベースの共通 API で、デジタルテレビのアプリケーションを実現します。

**GEM(Global Executable MHP) :**

欧州(DVB)、米国(ATSC/CableLabs®)、日本(ARIB)の規格化団体で組織されるMUG(MHP umbrella Group)が、DVB-MHPの仕様をもとに定めた世界標準の規格名です。このGEMをベースにして、日本の ARIB-J規格やBlu-rayのBD-Jの規格が策定されています。